

相模原中RC

会報

第 2268 回例会

9月2日 № 8

会長 藤本 恵介 幹事 河野 崇

よいことの
ために
手を取りあおう



「イニシエイションスピーチ」

柴田 喜文

改めまして、今日はこのような時間をいただきありがとうございます。まずは、自己紹介をさせていただきます。

昭和58年10月19日生まれ（42歳）

川崎市出身 相模原市在住

家族構成は、妻、長男（中学校2年生）、次男（小学校4年生）の四人家族です。

◎てっぱんとは？

- ・職業 飲食店（屋号 てっぱん）
- ・飲食歴6年目（2020年3月13日）
- ・従業員数3名（私を除く）

「てっぱん もんじやダイニング」とは 主に、創作もんじや・お好み焼きをメインにお酒は自慢のビール（神泡超達人）を SUNTORY 様から表彰されたお店です。

また第21回お店大賞準大賞を受賞。

●友好クラブ

韓国・龍仁ロータリークラブ
国際ロータリー第3600地区
台湾・台中文心ロータリークラブ
国際ロータリー第3461地区

●姉妹クラブ

千曲川ロータリークラブ
国際ロータリー第2600地区

●提唱インタークトクラブ

光明学園相模原高等学校

2020年3月、自身の「夢」を叶えるため、地域に愛される飲食店を開業。その翌月待ち構えていたのは、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言。

◎夢までの道のり

22歳の時、個人事業主として飲食店を持つ事を「夢」に、異業種を多数経験。いざ開業！

その後いきなり「絶望」

自己資金のみで開業準備が着々と進み、「ここからが、勝負だ！」と思った時、コロナによる緊急事態宣言が発令。

相模原駅前からお客様は居なくなりコロナは増加するばかり。それでもお客様がご来店され

る可能性を信じ、日々買い出し・仕込みを怠らず、お出迎えの準備は完璧。ですが、お客様はご来店されず時間だけが過ぎていき、心のメンタルは崩壊寸前。

「これではまずい」と思い今できることは全てやりました。料理の研究・品質の研究 お弁当販売・テイクアウトの実施・駅前でチラシ配り（許可は得てます）、ポスティング配布、敷地内の呼び込みなどなど、1日の睡眠時間は1時間ぐらいでした。

それでもお客様が店舗にご来店される事は無く、お弁当も売れず、テイクアウトもなく、自己資金も底をつきかけ、事業計画書を持ち、資金調達に奔走。メガバンク・地銀・町銀・日本政策金融公庫などに向かいなんとか資金調達しようと地域を駆け巡りましたが、結果はNOの一言で終わり。

◎家族と愛

絶望の中「ああ、僕の夢はここで終了するのか。家族に報告してお店潰れるからごめんね」と素直に伝えた所、家族から「大丈夫！また一からやり直せば良いじゃん。お店は無くなってしまも家族は居なくならないんだから」の一言を妻から頂き号泣。

その一言で、自分自身の何かが弾け飛び「ギリギリまで頑張る。ありがとう。」の気持ちを持ち「みんなのために」できる事を再度考え直し、洗い出し、僅かな自己資金と僅かな時間を無駄にせず一生懸命駆け走りました。

◎転換期

6月に入り、今は亡き安倍晋三元首相が緊急事態宣言を解除し、日本経済復興の為ゴートゥトラベルを発令！まさに、「転換期」お客様も「待ってました」と言わんばかりに、来店ラッシュ！お店で飲食・弁当・テイクアウトなども繁盛！

お客様に来店動機を伺った所、チラシ・ポスティング・呼び込みなど、諦めず取り組んできた行動がお客様に伝わっており、「ずっと気になつた」と一言。諦めかけてた心を家族のおかげで奮起でき、諦めず行動してきた事がお客様にも伝わっていた事に心の底から感謝です

◎その後

家族の愛情・仲間の愛情・お客様の愛情に多くの触れる事ができ、社訓「感謝の気持ちを忘れない・相手の立場に立って物事を考える」を心に刻み現在に至ります。

◎相模原中ロータリー

人との繋がりは奇跡の連続です。ただ、誠実に切実に感謝の気持ちを胸に刻み、人との繋がりを大切にする事により、相模原中ロータリーの皆様に出会い、2年間の時間を経てご一緒する事が出来ました。若輩者ではありますが、これからも宜しくお願ひ致します！僕は「中一択です」ご清聴ありがとうございました。

（概要にて掲載）



「イニシエイションスピーチ」

池之上 和哉



【自己紹介】

生年月日 昭和43年8月21日生
家族構成：妻・娘（26歳）・義母・愛犬ココ
趣味は昨年よりゴルフを始めて練習中です。

鹿児島県出身の両親の元、東京都国立市で生まれ、小学生から立川市で育ちました。

小・中学生時代は野球少年で中学校の野球部時代は当時の顧問が熱い方で野球漬けの毎日でした。

その後、高校に進学し野球漬けの生活から解放された私は当時80年代のバンドブームという事もありギターとベースを購入し同級生とバンドを始めました。

24歳の時にキヤノンの事務機器を販売する会社へ就職しOA機器主に複合機のメンテナンスを行うCE（カスタマーエンジニア）として八王子支店に勤務。

37歳の時に先に転職していた元上司から誘われジムオールにカスタマーエンジニアの責任者として入社。

3年後の40歳の時に創業者当時の会長（源野）が引退する事となり取締役に就任しました。このタイミングで営業の経験も必要との事で営業部へ移りました。

46歳の時に部下と同行した櫻内工務店様で櫻内社長が現会長（関口）を中ロータリークラブにお誘い頂いていることを知り会社へ戻り現会長（関口）へ入会するようお願いをしました。しかし、その1か月半後に何故か私が入会していました。

何をするところなのかもよくわからないままに入会させて頂いた私ですが、諸先輩方からとてもやさしくして頂き、ためになる卓話を聞かせて頂き、奉仕活動を行う事で自分自身の成長と会社の発展に繋げていくという想いで出席していました。ところが2020年12月新型コロナ過でOA機器の製造が遅延し供給が出来ず社業に影響をおよぼしてきた事もありやむなく退会させて頂きました。

それから5年が経過した昨年の7月に関口（現会長）から代表を引き継ぎ現在、私の2期目、会社は47期目を迎えたところです。

令和4年以降は徐々に複合機販売の方も持ち返してきてはいますが、ペーパーレスの波は大きくなることは必然と考え、現在、当社の売り上げ構成も徐々に変化してきています。

大手事務機器販売店と同様の商品やサービスでは生き残っていくことは難しいと考えて、現在はOA機器以外では省エネ補助金を使っての設備入替の工事、（LED、空調、厨房機器）、その他エアコンクリーニング、ゴムチップ舗装、ALSOKのセキュリティなど様々な企業様とタッグを組みご協力を頂ながら差別化を図っております。当然のことながら40年以上弊社の基礎となっている複合機含むOA機器、事務用品販売と保守サービスは現在も並行して力を入れております。「お客様の困ったを助かったに変える」オールインワンの企業となる事を目指しております。

（概要にて掲載）

会長の時間



皆さん、こんにちは。会長の時間を始めます。今日は、地区ガバナーから届きました9月の月信について、松下ガバナーと元木地区会員増強維持委員長の記事を中心にお話ししたいと思います。

まず強調されているのは、会員の増強と維持についてです。これは、ロータリーの未来を形づくる上で欠かすことのできない課題です。

数を増やすこと自体が目的ではなく、クラブが地域や国際社会で信頼され、持続的に奉仕を行うための基盤となります。

2025-26年度の国際ロータリーのテーマは「UNITE FOR GOOD（良いことのために手を取りあおう）」です。

国際ロータリー会長は「ロータリアンが人と

（次ページへ続く）

人とのつながりから生まれる力を活用し、会員増加や奉仕プロジェクトでの協力、そして世界への前向きな変化をもたらすことを目指す」と述べています。私たち相模原中ロータリークラブも、この考えに共鳴し、本年度のクラブテーマとして「つながり」を掲げています。

つまり独自の発信ではなく、国際ロータリーの方針を受けて実践しようとしているものです。

今回の月信では、会員増強において「誰を迎えるか」が重要であり、多様性を尊重することが強調されています。ここで触れられているのが、ロータリーが重視する「多様性、公平さ、インクルージョン」、いわゆるD E Iです。

先日私は「アメリカではトランプ政権となり、D E Iは以前ほど積極的に言われなくなった」とお話ししました。しかし今回の月信を読むと、ロータリーは依然としてD E Iを大切にし続けていることが明確に示されています。

国際的な状況に変化があったとしても、ロータリーは多様性と公平さを守る姿勢を持ち続けているということです。

その一つの形が「衛星クラブ」です。従来のクラブに参加しにくかった人々にも柔軟な形で門戸を開き、若い世代や専門職、新しい技術分野の人材を迎え入れる仕組みです。

こうした新しいつながりが、クラブの活動の幅を広げることにつながります。

また、会員を増やすには「なぜ入会するのか」「入会によって何を得られるのか」を明確に伝える必要があります。ロータリーは親睦の場にとどまらず、地域や世界に奉仕し、自己成長と協働の価値を得られる場であることを示すことが大切です。そして新会員を迎えた後には、クラブ全体で維持と定着に力を注ぐことが求められます。交流の機会やメンター制度を整えることで、クラブの一員としての誇りを持ち、長く活動していただけるようにすることが重要です。

もう一点、事務的なお知らせですが、これまで毎年設定されていた「R I会長テーマ」や「ロゴ」は昨年の理事会で廃止されました。

リソースを効率的に使うための判断ですが、方向性がなくなったわけではありません。今年度は「会長メッセージ」として「U N I T E F O R G O O D」が発表され、活動の指針は引き続き示されています。

さらに本年度の地区ポリシーは「H a v e f u n R o t a r y」です。奉仕活動を楽しみながら取り組むことが、仲間を増やし、活動を継続させる力になるとされています。

この月信を踏まえると、会員増強と維持がクラブの未来を左右する課題であり、人と人とのつながりを大切にすること、多様性を尊重し柔軟な仕組みを取り入れること、そして入会の意義を明確に伝え、新会員が定着できる環境を整えることが必要だと分かります。私たちが掲げる「つながり」というテーマは、国際ロータリー会長のメッセージに基づき、それを実践していくこうとする姿勢の表れです。

私たち一人ひとりが、この「つながり」を意識して行動することで、相模原中ロータリークラブの活動がさらに意義深く、力強いものになっていく信じています。

以上、会長の時間を終わりにします。



☆管野 宏一君（相模原R C）

本日はメイクに参りました。よろしくお願ひします。

☆藤本会長、河野幹事

①本日は柴田会員と池之上会員のイニシエイションスピーチですね。どの様なお話をされるのか楽しみにしておりました。

池之上会員は2回目9年ぶりのイニシエイションスピーチですから、沢山アップデートされていますね！宜しくお願いします。

②皆様、今週末の地区大会楽しみましょう！

★小野 孝会員

①誕生日祝の阪西さん、おめでとうございます。
②柴田さん、池之上さんよろしく。（次頁へ続く）

☆竹田 繁会員、丸子 勝基会員

①柴田会員、池之上会員、本日はイニシエイションスピーチ宜しくお願ひします。

②阪西会員誕生日おめでとうございます。

☆黛 裕治会員、佐々木 敏尚会員

①会員誕生日の阪西さん、おめでとうございます。

②イニシエイションスピーチの柴田さん、池之上さん、楽しみです。よろしくお願ひします！

☆阿部 毅会員

①柴田会員、池之上会員、本日のイニシエイションスピーチを宜しく。楽しみにしております。

②阪西会員の誕生日祝い、おめでとうございます。

☆櫻内 康裕会員

①会員誕生日祝いの阪西会員、おめでとうございます。

②イニシエイションスピーチの柴田さん、池之上さん（2回目？）宜しくお願ひします。

☆家住 悅子会員

①阪西さん、誕生日おめでとうございます。

②柴田さん、池之上さん、イニシエイションスピーチ楽しみにしています。

☆田後 隆二会員

①阪西さん、誕生日おめでとうございます。

②イニシエイションスピーチの柴田さん、池之上さん、楽しみです。

☆横溝 志華会員

①管野さん、お越し頂きありがとうございます。

②阪西さん、誕生日おめでとうございます。

☆伊倉 正光会員

①柴田会員、池之上会員イニシエイションスピーチ楽しみにしています。

②阪西会員、誕生日祝いおめでとうございます。

☆大井 達会員

①阪西会員、お誕生日おめでとうございます。

②柴田会員、池之上会員イニシエイションスピーチ宜しくお願ひします。

③9月になりましたが、今年はもうしばらく、夏を楽しむなければならないようですね。

☆柴田 喜文会員

①先日は、歓迎会ありがとうございました。

②本日はイニシエイションスピーチ頑張ります。

☆池之上 和哉会員

①阪西会員、誕生日祝いおめでとうございます。

②本日は、2回目のイニシエイションスピーチです。よろしくお願ひします。

☆一ノ瀬 輝城会員

先日は歓迎会を開催して頂き、ありがとうございました。楽しい時間を過ごすことができました。

☆8/26夜間例会後の2次会おつりをスマイルします。

本日のスマイル額 25,300円

今年度のスマイル額 214,300円

【近況スピーチ】

藤本 恵介会員

近況スピーチですが、何を話そうか迷っていたところ、河野幹事から5キロ減量を決めてみてはどうですかとおすすめされました。

運動も特にしていないので、何をしようかこれから考えます。

【ミニ講座】

小崎 直利会員

今日は、「イニシエイションスピーチ」についてをお話したいと思います。

直訳すると、ある状態から新しい状態へ変化するために課される、「通過儀礼のこと。」

一般的には、「加入」「入門」「儀式」と訳されます。主にロータリークラブなどの団体で新会員が行う自己紹介のスピーチを指します。

このスピーチは、新会員が自身の経歴、職業、趣味、考え方などを他の会員に紹介する機会となります。例えば、自身の生い立ちや家族構成、仕事内容、これまでの人生経験、今後の抱負などを語ることが一般的です。

イニシエイションスピーチは、新会員が団体の一員として認められ、他の会員との信頼関係を築くための重要な「最初の儀式」のような役割を果たします。



【報告事項】

1. 第2780地区ガバナー事務所より
 - 1) 地区大会2日目の送迎バスについて
◎バスの送迎時間行き、8:30~12:30、
帰りは17:30~18:30。
◎マイクロバス3、4台でピストン運送です。
20分毎とありますが、満員になり次第出発いたします。※徒歩の場合は駅から約15分です。
 - 2) 地区大会表彰について
9月7日(日)地区大会本会議で表彰されますので、当日表彰式に臨まれる方に点鐘より指定席にお座り頂くよう宜しくお願ひ致します。
 - 3) 横須賀ローターアクトクラブ創立50周年記念式典開催のご案内
10月4日(土)14:00~17:30 場所: メルキュール横須賀 登録料: 8,000円

【理事会報告】

- ①ロータリー財団奨学生候補者(別紙)
候補者としての申込ありました。→承認。
・山口 莉央さん(青山学院大学4年生)
- ②横浜銀行口座開設について→承認。
- ③地区大会表彰式代表者について
ロータリー賞での表彰がありますので、登壇はしませんが、当日指定席にて起立をして頂きます。大井直前会長へ依頼→承認。
大井直前会長より了承されました。
- ④年末家族例会について
日程: 12月16日(火)
場所: (案) 敦煌、レンブラントホテル町田?
→要検討する。
- ⑤事務局事務所移転候補
トーエイビル 家賃約6万円→要検討
- ⑥小冊子(手帳)の予算→要検討する。



大井直前会長、諸隈直前幹事からクラブの旗を寄付していただきました。ありがとうございます。イベント等で使わせていただきます。

例会スケジュール

9月 9日→7日(日) 地区大会に振替

16日 「財団奨学生帰国卓話」
杉野 若葉さん

例会記録

点鐘 12:30
会場 中国名菜「敦煌」
司会 黒 裕治 SAA
齊唱 国歌「君が代」
ロータリーソング「四つのテスト」
ソングリーダー 池之上 和哉会員



出席報告

会員	出席(対象者28名)	事前メイク者
32名	(Zoom含)21名	0名
欠席者	本日の出席率	修正出席率(8/19)
7名	80.00%	77.41%

- 例会場 中国名菜「敦煌」 ●例会日 毎週火曜日 12:30~13:30 ●編 集 親睦活動委員会
〒252-0231 相模原市中央区相模原2-13-1 委員長: 犀住 悅子 副委員長: 阿部 穀
TEL 042-756-6555 FAX 042-756-6559 委員: 竹田 繁、田所 穀、丸子 勝基
●事務局 〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3 早川 正彦、伊倉 正光、阪西 貴子
相模原商工会館 3F 南 篤史、古屋 香織、山口 友彦、白崎 功
TEL 042-758-5750 FAX 042-758-1605 木下 裕介、柴田 喜文、池之上 和哉
●E-mail: rotary@tbg.t-com.ne.jp 高椋 大寛、小嶋 広明、宮本 烈温